

医薬品の GS1DATABARと 医療機関での利用

奈良県立医科大学附属病院 池田和之



医薬品バーコードの利用



医薬品バーコードの利用

調剤包装単位

- 注射薬の払い出し
- 注射薬の調製
- 内服薬の払い出し
- 特定生物由来製品

販売包装単位

- 在庫管理
- 受発注管理
- 棚卸

医療機関内の医薬品物流



- 医師からの処方オーダーと医薬品を紐づけ
- 使用薬品を確定
- 当院での利用事例
 - 注射薬払い出し、混合
 - 注射薬返品処理
 - 内服薬の払い出し
 - 散薬・水薬の混合鑑査



当院での医薬品バーコードの利用事例

注射薬調剤時の利用



注射最終監査

20:29:11 現在 **未鑑査一覧**

検索条件
 処方箋区分 病棟 診療科
 服用開始日 オーダー番号

オーダーNo.	患者ID	患者氏名	処方 No.	実施日	患者印	鑑査印
20621238010	0004		0007406888	10/16		
20614241010	0005		0007406892	10/16		
20564672010	0003		0007406659	10/16		
20649068010	0005		0007407301	10/16		
20633416010	0001		0007407661	10/16		

処方箋 最終監査

臨時 新規 **注射薬鑑査システム** オペレーター 第二鑑査者
 奈良医大病院 薬剤部

オーダー番号 20864903010 診療科 救急科
 服用開始日 H21/11/03(火) 病棟(病室) 救急集中122号
 医師氏名
歳3ヶ月(S□/7/18) 男性 **調剤が未完了**

Rp	薬品名/用法	1回量/回数	総量	保存	抗癌剤	抽出	調剤者	薬品チェック
2/11	点滴注射 ソルデム3A輸液 500mL 1日3回 点滴速度 60 ml/h 指示符2番目 (08:00~16:00)	500mL ◎1回分	1袋			●		
1/11	点滴注射 ソルデム3A輸液 500mL 1日3回 点滴速度 60 ml/h 指示符1番目 (00:00~00:00)	500mL ◎1回分	1袋			●		★
3/11	点滴注射 ソルデム3A輸液 500mL 1日3回 点滴速度 60 ml/h 指示符3番目 (16:00~00:00)	500mL ◎1回分	1袋			●		
4/11	点滴注射 ヴィーンF注 500ml 1日2回 点滴速度 40 ml/h 指示符1番目 (00:00~12:00)	1瓶 ◎1回分	1瓶			●		

F-1 F-2 F-3 F-4 F-5 F-6 F-7 F-8 F-9 F-10 F-11 F-12

本数チェック 7555923

当院の事例（注射薬返品システム）



- ランダムに置かれた薬品を1つずつピックアップ
- 医薬品バーコードのより薬品を分別管理
- ロット、有効期限も確認
- 薬品払い出し時には、本システム内の医薬品より払い出し

散薬・水薬鑑査システム



散薬鑑査システム



水薬鑑査システム

GS1DataBarを利用

処方内容とのチェックを行い調剤間違いを未然に防ぐ

内服薬でのバーコードの利用



処方情報



オーダー内容呼び出し



電子カルテシステム

薬剤部門システム

携帯情報端末



- ① 医薬品のチェック
- ② 在庫数の確認
- ③ 出納簿の作成

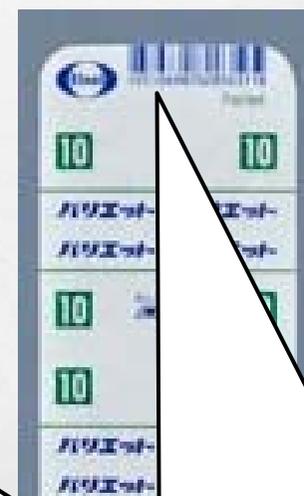
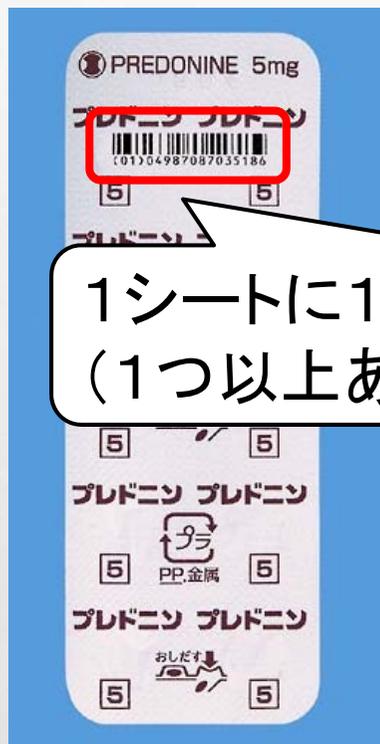


内服薬での医薬品バーコードの利用



医薬品バーコードの利用 における課題

実際の表示



1シートに1つ表示
(1つ以上あっても構わない)

1シート10錠と1シート14錠で
はコードが異なる

1箱100錠入りも1000錠入りも1シートの錠数が同じで
あれば同じバーコード

医薬品バーコードの利用における課題

100錠、140錠等の払い出し数の多い医薬品は、安定性を考慮してピロー包装のまま払い出し。

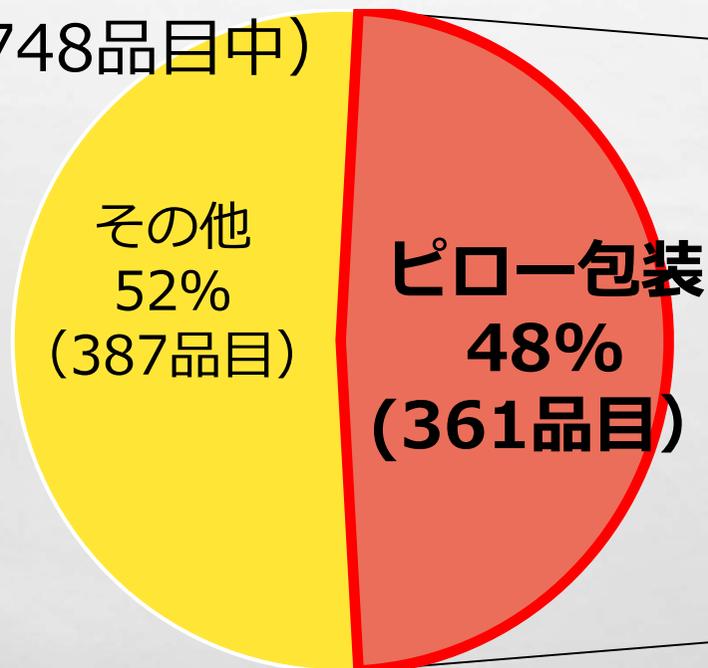
アルミ材質のピロー包装では、シート上のバーコードが使用できない。



ピロー包装への医薬品バーコード表示の現状

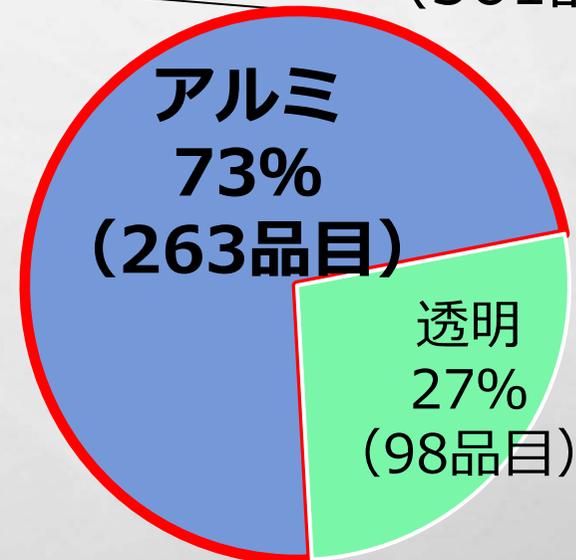
① ピロー包装の有無

(748品目中)



② ピロー包装の材質

(361品目中)



日病薬「病院薬剤部門 の現状調査」より

日病薬「病院薬剤部門の現状調査」とは

目的

- 病院薬剤師業務の現状及び経年変動を把握

対象

- 本会の会員が所属していない施設を含めたすべての病院

調査時期

- 毎年6月時点の状況を調査

回答方法

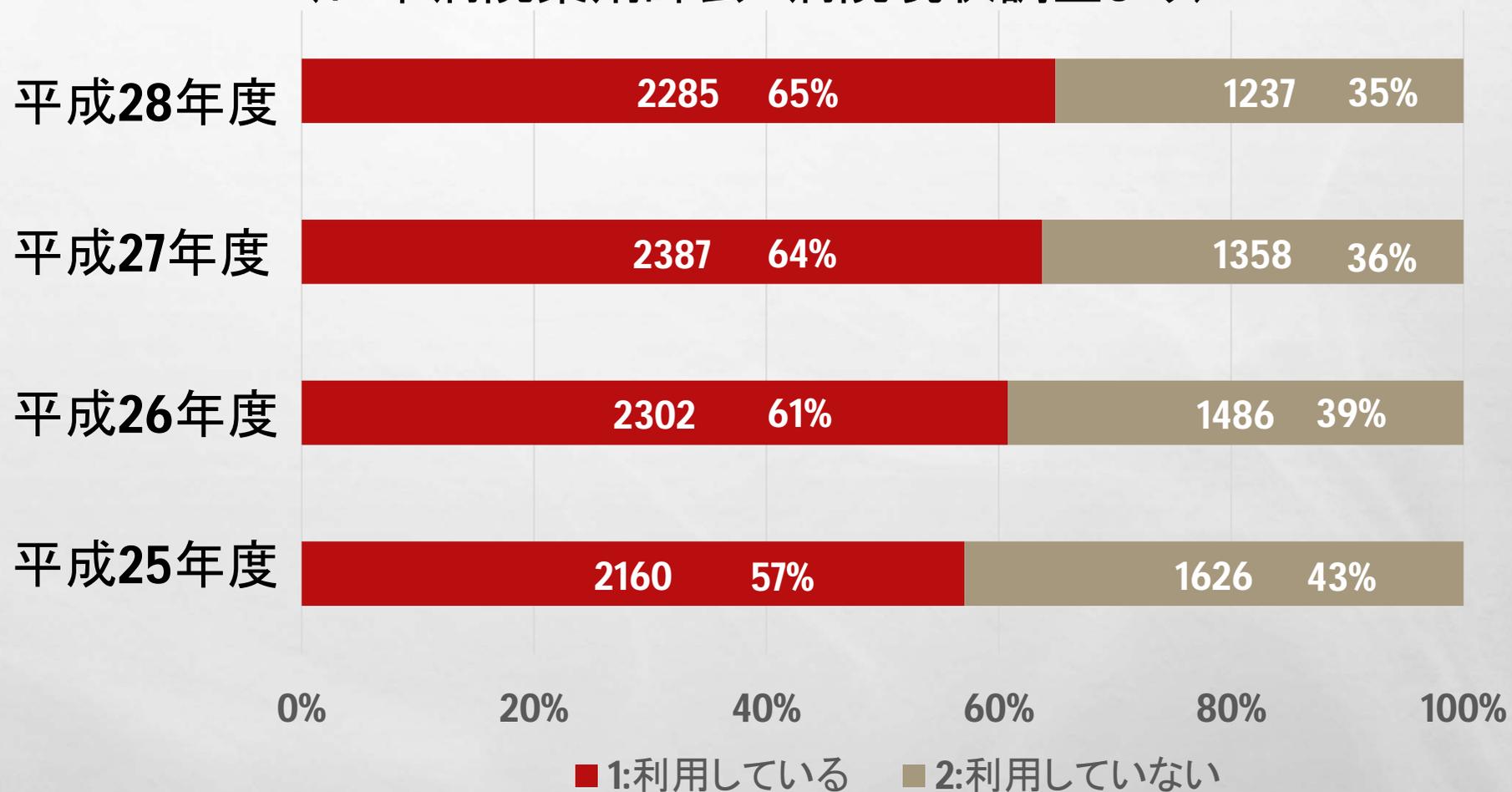
- インターネットおよび郵送で回答受付

調査内容

- 全73項目、調査用紙として37ページ

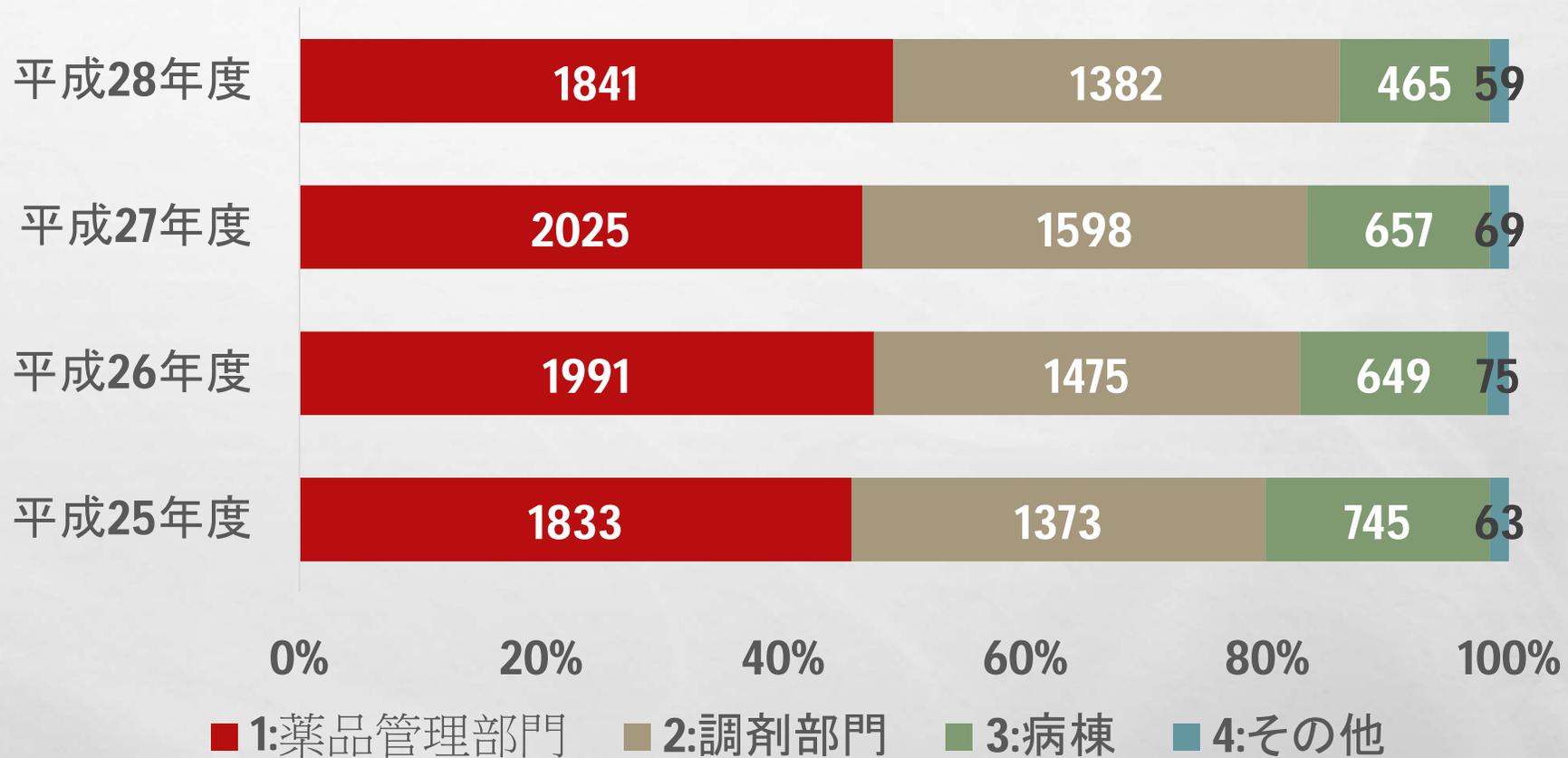
【医薬品に関するバーコードの利用状況】

(日本病院薬剤師会 病院現状調査より)



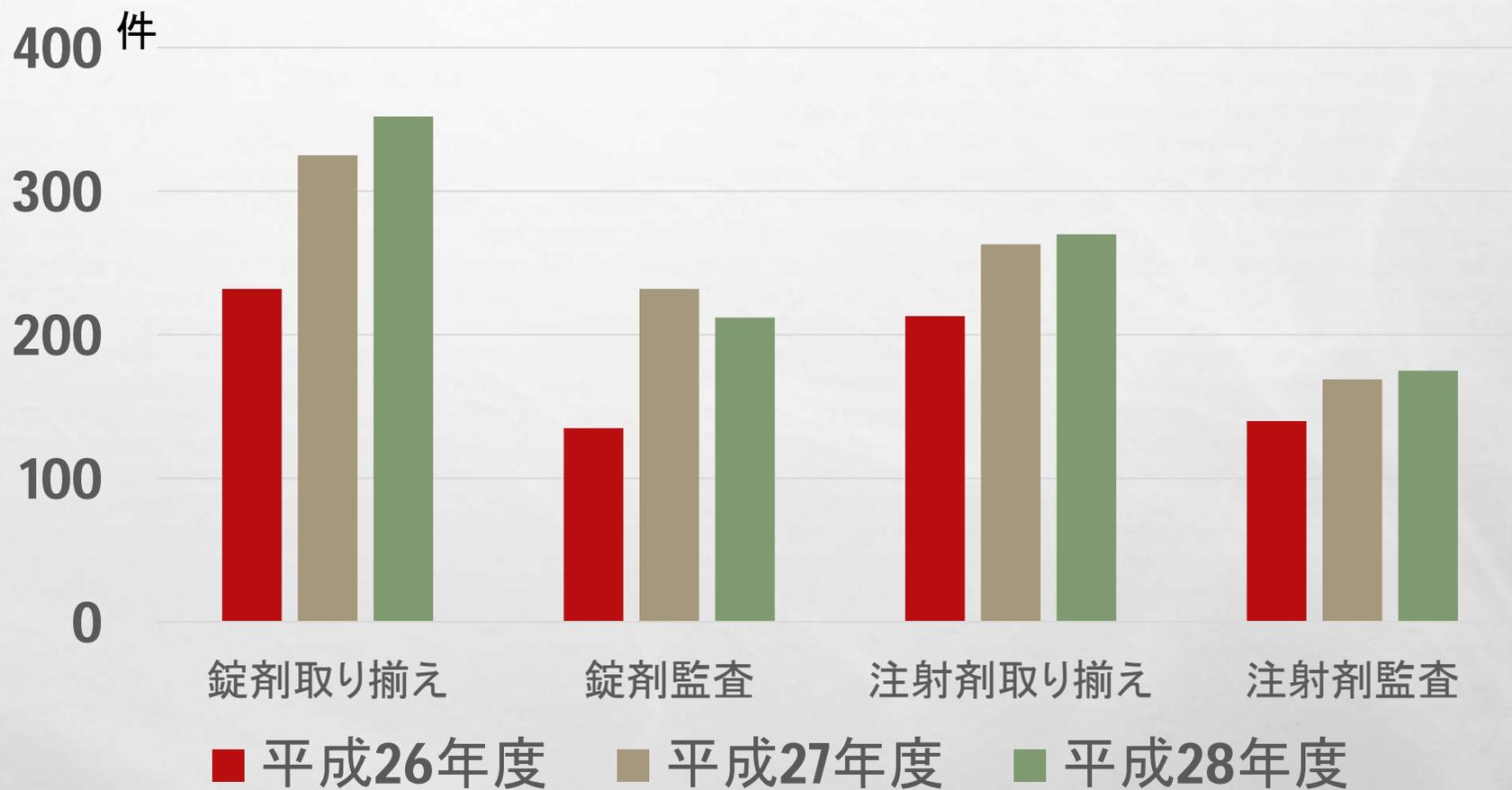
【医薬品に関するバーコードの利用場面】

(日本病院薬剤師会 病院現状調査より)



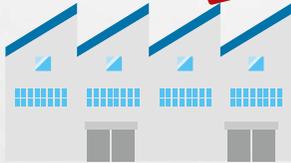
【医薬品に関するバーコードの利用場面】

(日本病院薬剤師会 病院現状調査より)

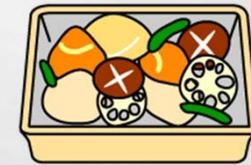


医薬品流通と情報

箱の開封までは、
製造業者が責任



箱の開封後は、
加工業者が責任

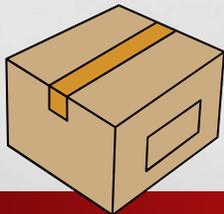


製薬企
業

医薬品
卸

医療機
関

患者



製品単位の流通
製品の管理責任は各企業に



バラ単位の流通
製品の管理主体は
医療機関・患者に

ご清聴、
ありがとうございました。